

市民公益活動支援センターを考える会 第5回 議事録概要版

日 時：7月8日（火） 14:00～16:45

場 所：柏市役所本庁舎分室1第1会議室

記 録：松浦光恵

参加者：塚越忠夫・四元恒慈・保田行弘・高田昭治・山岡平三・中村典道・高橋昌代・松田月子・小島琢夫・岡田哲郎・諏訪部正敏・鬼澤徹雄・後藤能成

合計13名他、事務局4名

（欠席者）土谷和光・増田泰子・吉田孝子・大島安輝子・岡田幸男・吉村友佑・藤田哲也

次 第：1．挨拶

2．機能と事業内容を考える

「交流・サロン」

<休憩>

3．機能と事業内容を考える

「ネットワーク・コーディネート」

4．事務連絡

1．機能と事業内容を考える 「交流・サロン」

支援センターの機能の二つ目として、「交流・サロン」について話し合いを行った。「個人と個人」、「個人と組織」の交流の促進による地域課題の解決を目指して、たくさんの人にまず活動を知ってもらい、市民公益活動の裾野の拡大、団体のPR、テーマ・分野ごとの支援、といった多様な対象や目的に合わせた効果的な「交流」が自由に行えるように、と話し合われた。この中で、以下5つの具体的な事業内容を柱に検討していくのはどうか、という議論となった。

<交流のカタチ（具体的な事業内容）>

掲示板（テーマごと、課題ごと）

少人数対象

・常設

・キャンペーン・・・タイムリーなことを取り上げる

イベント（まつり、フェスティバル）

大人数対象

サロン・体験型

少人数対象（20人～30人）

体験型ワークショップ

少人数対象

カルチャースクール（ちょっとしたお遊び感覚で参加できる）

少人数対象

<その他の意見>

・キャンペーンのようにテーマを決め、ある程度期間限定で掲示板やサロンを活用すると面白いのでは？

- ・ 定期的に開催する
- ・ 気軽に参加できることが大事
- ・ 何らかのインプットがあるといい
- ・ お茶とお菓子があったほうがいい

2. 機能と事業内容を考える 「コーディネート・ネットワーキング」

三つ目の機能として「コーディネート・ネットワーキング」についての検討を行った。人と人 物/金と人 団体と団体 行政と団体をつなぐことで、地域課題の解決や団体の支援を行いたい、という議論となった。そこで以下のような具体的な事業内容の案が出された。

< 具体的な事業内容 >

- 無料相談 (簡単な相談、電話や窓口で対応)
- 紹介・マッチング (各分野の専門家・NPO・行政などにつなぐ)
- コンサルティング (問題の解決まで導く)

このような事業内容について様々な意見が出されたが、どこまでを今回の支援センターで提供するべきかについては意見がまとまらなかった。そこで、

- ・ コストや人材の点から、どの程度の事業が可能であり、また必要なのか
- ・ 「ネットワーキング」と「マッチング」の違いは何か
- ・ 社会福祉協議会ではボランティアとのコーディネートをどのように行っているのか
- ・ 他地域の支援センターでは、どのような「コーディネート・ネットワーキング」事業を行っているのか

といった点を整理しつつ、次回もう一度話し合いをもつこととした。

3. 決定事項と次回について

今回の会議では、具体的な機能の二つ目である「機能2：交流・サロン」と三つ目の「機能3：コーディネート・ネットワーキング」について意見を出し合った。また「機能3：コーディネート・ネットワーキング」については、社会福祉協議会での事例や、全国の先進事例を参考に次回も検討を続ける。また「機能4：場所・施設の提供」についても時間があれば次回検討に入る予定。